

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表日：令和 5年 2月20日

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	8		国の定めた基準以上の広さを確保しています。利用人数によっては混み合っているように感じられる場合もあるかと思いますが、スペースと人数は適切になるように努め、ソーシャルディスタンスは常に考慮しています。	
	2	8		国の定めた基準配置以上の有資格者の職員を配置しています。	
	3	7	1	完全なバリアフリー化は今後の検討課題ですが、玄関周り・ウッドデッキなどの修繕を行いました。	現在車椅子利用の児童の受け入れはいいですが、玄関の修繕を行い対応できるようになりました。今後受け入れがあった場合でもバリアフリーだけでなく移動しやすい環境になるよう心がけていきます。
業務改善	4	7	1	業務形態はPDCAを意識して取り組んでおり、振り返りも全職員で行っています。	今後も、常に業務改善の意識を持ち、職員全体で話し合い共通理解から連携につながるよう必ず全職員で共有してまいります。
	5	8		保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	
	6	7	1	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	今後も公式Webサイトで公開してまいります。
	7		8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
適切な支援の提供	8	8		職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	
	9	6	2	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	モニタリングはもとより、常に保護者様等との情報交換を行い、サービス計画や日常の療育活動に取り入れるように努めています。
	10	8		子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	標準化されたアセスメントツールを使用しています。
	11	8		活動プログラムの立案をチームで行っている	6ヶ月毎のプランの見直しとともに日々のプログラムにおいてもチームで話し合い、立案、実施、振り返りを行っています。
	12	6	2	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	季節の行事を取り入れながら、情報交換を行い、個々に合わせた活動プログラムを作成し、固定化しないように工夫しています。
	13	7	1	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	個々に合わせた学習のみでなく、多様な課題を設定し平日・長期休暇ともに固定化しないよう工夫しています。
	14	8		子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	年齢や性別、児童の状況に合わせてルールやマナー、社会に向けてなどのテーマを決め、個別活動と集団活動を適宜に組み合わせで行っています。
	15	8		支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	今後も、日々話し合いの時間をもち活動内容やその支援方法について周知確認してまいります。
	16	6	2	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	支援終了後は、その日の報告や気付きなどの情報交換を行い、不在の職員には連絡ノートなどで情報を共有しています。
17	7	1	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	次回の療育につながるよう内容を記載し、支援の質の向上の為、児発管が内容確認やアドバイスをしています。	
18	8		定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	児発管が情報を交換したうえで、その時々に応じた計画の見直し等の必要性を判断しています。	
19	8		ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	ガイドラインに沿って、児童一人一人に合わせた基本活動を取り入れ支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	20	8		障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	基本的に児発管が参画しており、より精通できるよう事前に職員等から情報収集し臨んでいます。
	21	8		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	送迎時に行事予定やその日の様子、体調などの情報交換を行っています。送迎時間を前後する場合も事前に連絡しています。
	22		8	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。
	23	7	1	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	児童発達支援事業所との連携をとり児童の情報交換をしながら、内容を共有し理解につなげています。
	24	6	2	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	提供を求められた際は保護者様に確認をとり必要な情報を提供できるように備えています。
	25	7	1	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	コロナ禍のため、研修の機会は多くありませんが、児童発達支援センターや他事業所との打ち合わせ等情報共有の場に参加し助言などを受けています。
	26	3	5	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	コロナ禍の為に実施は少ないですが、地域の図書館や公園に出向いて交流する機会を設けています。
	27	3	5	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	コロナ禍の為、参加できていません。
	28	8		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	利用時の様子などは連絡帳や送迎時等で、日々連携をとり共通理解に努めています。
29	7	1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	保護者様からの相談などに、職員でも話し合いながらアドバイスを行っています。	
保護者への説明責任等	30	8		運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	契約時に詳しくお伝えすると共に運営規定は事務所入り口に掲示し、常に確認して頂けるようお声かけをしています。
	31	8		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	送迎時には必ず保護者様との情報交換を行い、悩み事なども相談しやすいように雰囲気作りにも留意しています。
	32	1	7	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	コロナ禍の為開催されていませんが、事業所宛に配布される子育てに関するセミナーや親子で参加できる催し等のパンフレット等を各家庭にも配布しています。
	33	8		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	苦情があった場合は早急に解決出来るよう対応しています。
	34	8		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	連絡帳やSNS、ホームページ等で発信しています。
	35	8		個人情報に十分注意している	個人情報の保護を厳守する為に鍵のある書庫に保管し、書類の破棄時には細かく裁断し、破棄するなど慎重に取り扱っています。
	36	8		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	伝え方などに配慮し、良い関係が築けるよう心がけています。
	37	4	4	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	感染症に考慮しながら、今年度は地域の消防署への見学や、警察の方に来ていただき事業所内で交通教室を開催しました。
非常時等の対応	38	8		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	各マニュアルに関して、事業所玄関に掲示し常に保護者様、職員が、確認できています。
	39	8		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	地震、不審者、火災、水害など非常時に備えて定期的に行っています。その都度、振り返りも行い防災意識を高めています。
	40	8		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	定期的な職員研修を計画し実施しています。
	41	7	1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	身体拘束が必要になった場合、保護者様に説明し、話し合い、了承を得て個別支援計画に記載をします。
	42	4	4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	食物アレルギーのある児童について職員で共有し、対応しています。
	43	8		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	事業所内で共有し、再発防止につながるよう話し合いの場を設けています。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。